

平成 19 年度・平成 20 年度
～「実践型人材養成システム」普及のための地域モデル事業
実施団体好事例集～
【⑪福岡県自動車整備商工組合(自動車整備士)】

○モデル事業導入にあたって

自動車関連技術の進歩は早く日進月歩で進歩している。整備業界においてもそれらの新技術に対応した新しい知識・技術の習得が必要となっている。また、少子高齢化や「若者のものづくり」離れが進行するなか、若年労働者の確保が業界団体として急務となっている。

このような状況の中、当該モデル事業を通じて整備士の養成に取り組むことにより業界に対するユーザーの信頼を高め社会的地位の向上を目指すこととした。

○企業のメリット

- ・ 職業訓練カリキュラム、能力評価マニュアル等の策定による企業における教育訓練プログラムの整備
- ・ 訓練担当者の育成

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・ 体系的に基礎を学ぶことができて良かった。
- ・ 電装関係カリキュラムで訓練生が電気配線図等を活用しながら、問題点を自発的に解消しようとするようになった。

○これから取り組む企業の方へ

自動車整備業においては、当組合のモデルカリキュラム等を活用した実践型人材養成システムによる訓練を実施することにより、訓練生が基本的な知識と技術を身につけられます。今回、実際に訓練を受講した皆さんについては、正社員登用後も引き続き、将来の現場の中核人材としてさらなる技術力の伸びが大きいと期待されています。